

2010年度（平成22年度）
広島経済大学 免許状更新講習シラバス

■教育内容の充実（選択領域）

テーマ：「商業教育の最新事情：現場を見る目を養う」

講習の名称	マーケティング研究の最新動向Ⅰ・Ⅱ
実施日	平成22年8月9日（月） 9：00～10：30、10：45～12：15
担当教員	池田 信寛
講習の狙い	マーケティング理論を知識としてではなく知恵として使いこなす力を身につける。
講習方法	講義とディスカッションおよび実習
到達目標	メディア情報からマーケティング情報を読み取る能力を身につける。
講習内容	マーケティングに関する知識は、数多く出版されている専門書やビジネス書を読めば得ることができるが、おおよそそこで得られた情報は知識レベルに止まっており、日々刻々と変化する市場環境に応じて実際の商品企画開発や販売営業などへ応用するという面での訓練が疎かにされてきた。したがって、本講義では、マーケティングに関する様々なキーワードの考え方の根本を理解することによって、マスメディアから得られる情報に含まれるマーケティング情報を読み解き、それを新たな商品企画開発や販売営業の現場へ生かす訓練をする。
教科書・教材・参考書	特になし。講習に必要なレジュメや資料は配布する。
成績審査	成績審査は、試験の成績や講習中の質疑応答などを含め総合的に判断する。 総合点で60点以上を合格とする。
履修認定の方法	科目毎の履修認定は行わない。選択科目それぞれの成績審査結果を総合審査し、履修認定を行う。
備考	

講習の名称	マネジメント研究の最新動向Ⅰ（戦略と組織）
実施日	平成21年8月9日（月） 13：00～14：30
担当教員	堀江 浩司
講習の狙い	流通業における新しい戦略や組織づくりについての理解を深める。
講習方法	講義形式で行う。
到達目標	流通業における価値創造の重要性を把握する。
講習内容	企業を取り巻く環境はめまぐるしく変化し、その変化に対応できない企業は淘汰されつつある。また、昨今の経済状況は多くの企業を苦しめている。しかし、その一方で環境変化に柔軟に対応し、新しい価値を提供することで業績を伸ばす企業も存在する。本講習では、流通業のケースを中心に現在成功している企業の戦略やビジネスの仕組みについて講義する。
教科書・教材・参考書	科目毎の履修認定は行わない。選択科目それぞれの成績審査結果を総合審査し、履修認定を行う。
成績審査	特になし。講習に必要なレジュメや資料は配布する。
履修認定の方法	成績審査は、試験の成績や講習中の質疑等を参考に総合的に判断する。
備考	キーワード：価値創造、イノベーション、創造性、仕組みづくり

講習の名称	マネジメント研究の最新動向Ⅱ（ガバナンス・CSR）
実施日	平成22年8月9日（月） 14：45～16：15
担当教員	榎田 智子
講習の狙い	現代企業における経営者の役割および企業倫理の重要性や、マネジメントにおけるそれらの要素の本質性といった、ホット 이슈をふまえた上でのビジネス教育を展開する能力を身につける。
講習方法	講義形式を中心とする。必要に応じて適宜グループディスカッションを取り入れる場合もある。
到達目標	・ケース分析に基づいた教授法のメリットとデメリットを把握する。 ・ケース分析を取り入れた教育方法を実践する能力を身につける。 ・「倫理」、「責任」および「経営者の役割」といった個人や社会の価値観と深く関係するテーマを、ビジネス教育において扱う上での強み・弱みおよび留意点について認識する。
講習内容	「企業と社会のコミュニケーションのあり方」をテーマとしながら、現代企業論および企業倫理について幅広く理解していくことを主たる目的とする。現代企業におけるさまざまな課題（例：コーポレート・ガバナンスと経営者の役割、雇用問題、消費者問題、環境問題等）について、最新の理論動向および事例を手掛かりに考察していく。
教科書・教材・参考書	科目毎の履修認定は行わない。選択科目それぞれの成績審査結果を総合審査し、履修認定を行う。
成績審査	特になし。講習に必要なレジュメや資料は配布する。
履修認定の方法	成績審査は、試験の成績や講習中の質疑等を参考に総合的に判断する。 評価基準は、総合点で60点以上を合格とする。
備考	キーワード：企業倫理・組織倫理、株主、従業員、ステークホルダー

講習の名称	流通研究の最新動向、流通の現場を見る（現地視察）、視察結果の整理・発表準備、発表と講評
実施日	平成22年8月10日(火) 9:00~10:30、10:45~12:15、13:00~14:30、14:45~16:15
担当教員	細井 謙一
講習の狙い	流通研究の最新動向を理解するとともに、その教授法を理解する。
講習方法	担当教員による講義のほか、商業施設の視察、および事例研究も行う。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・流通研究の最新動向を理解する。 ・商業施設の視察をとり入れた教授法のポイントを習得する。 ・事例研究を取り入れた教授法のポイントを習得する。
講習内容	生産と消費を結び付けることを流通と言う。流通業は変化対応業だと言われるほど、変化の激しい世界であり、その現実も、それを説明する理論も、常に変化している。本講習では、流通の最新事情、最新理論を講義するとともに、実際に商業施設を視察して、流通の最新動向について実感をともなう確かな理解を目指す。また、視察や事例研究を取り入れた、教授法のポイントについても、講義する。
教科書・教材・参考書	科目毎の履修認定は行わない。選択科目それぞれの成績審査結果を総合審査し、履修認定を行う。
成績審査	成績審査は、試験の成績や講習中の質疑等を参考に総合的に判断する。評価基準は、総合点で60点以上を合格とする。
履修認定の方法	特になし。講習に必要なレジュメや資料は配布する。
備考	キーワード：製販統合、商業集積、業態技術、品揃え形成、大型店問題

講習の名称	会計研究の最新動向Ⅰ（簿記・財務諸表・会計史）
実施日	平成22年8月11日(水) 9:00 ~ 10:30
担当教員	池村 恵一、杉田 武志
講習の狙い	証券市場を取り巻く昨今の状況に照らしながら、財務会計研究の最新動向を把握することで、実践的な簿記・会計教育の能力向上を図る。
講習方法	2名の教員による講義
到達目標	財務会計研究の最新動向を把握することで、実践的な簿記・会計教育に役立つような知見を得る。たとえば、簿記仕訳の背景にある基本的な考え方や証券市場で期待される会計・監査の役割について知見を得ることで、行き届いた簿記・会計教育を行うことができる。
講習内容	財務会計研究といっても学問領域は多岐にわたり、そのバックグラウンドによって研究の方向性も異なってくる。まずは、こうした財務会計に関する概要を取り上げ、現在、何に注目が集まり、何が目的とされ、何が明らかにされようとしているのか、を確認する。とりわけ、昨今、重要視される証券市場と財務会計との関係とともに、財務会計の果たす意義について個別論点を交えながら考える。これに加え、近年、マスメディアでしばしば取り上げられた会計不正の問題からも財務会計に焦点を当てる。具体的には国内外の経済事件を取り上げて、財務会計と監査の関係について理解を深める。
教科書・教材・参考書	科目毎の履修認定は行わない。選択科目それぞれの成績審査結果を総合審査し、履修認定を行う。
成績審査	特になし。講習に必要なレジュメや資料は配布する。
履修認定の方法	成績審査は、試験の成績や講習中の質疑等を参考に総合的に判断する。評価基準は、総合点で60点以上を合格とする。
備考	キーワード：金融危機の余波、金融商品会計、会計不正、監査

講習の名称	会計研究の最新動向Ⅱ（財務管理）
実施日	平成22年8月11日(水) 10:45~12:15
担当教員	小谷 幸生
講習の狙い	財務諸表を主体とする会計情報を活用して我が国企業の活動実態の分析を行うことを通じ、実践的な簿記会計教育の能力向上を図る。
講習方法	講義
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・経営分析技能の向上 ・我が国企業の業績及び財務状況についての現状と課題の把握
講習内容	はじめに財務会計情報によって企業活動を解釈するうえでのポイントとなる点を確認したうえで、実在する企業の財務データや関連する新聞記事などをもとに、リーマンショック後の厳しい経済環境に翻弄された我が国企業の現況を読み解き、その直面する課題を明らかにする。
教科書・教材・参考書	科目毎の履修認定は行わない。選択科目それぞれの成績審査結果を総合審査し、履修認定を行う。
成績審査	特になし。講習に必要なレジュメや資料は配布する。
履修認定の方法	成績審査は、試験の成績や講習中の質疑などを参考に総合的に判断する。評価基準は、総合点で60点以上を合格とする。
備考	キーワード：金融危機、財務レバレッジ、資金繰り、ROA、ROE、

講習の名称	ビジネス教育の最新動向Ⅰ（解説）・Ⅱ（実習）
実施日	平成22年8月11日（水）13:00~14:30、14:45~16:15
担当教員	細井 謙一、山内 昌斗
講習の狙い	ビジネスの世界で求められる人材の変化と、その変化の背景を理解するとともに、グループワークを採り入れた教授法のメリット・デメリット、実施方法を学び、教育能力の向上を図る。
講習方法	2名の教員による講義とする。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス教育へのニーズを把握する。 ・グループワークを採り入れた教授法のメリット・デメリットを把握する。 ・グループワークを採り入れたビジネス教育を実践する能力を身につける。
講習内容	工業経済から知識経済へと移行するなか、ビジネス教育現場に対する社会の要請に変化が生じている。仕事を効率的・能率的にこなすことができることに加えて、創造的・革新的に物事を展開できる人材の必要性が高まっているのである。本講習では、このような人材育成を目的としたビジネス教育法の動向とその内容について講義する。
教科書・教材・参考書	科目毎の履修認定は行わない。選択科目それぞれの成績審査結果を総合審査し、履修認定を行う。
成績審査	成績審査は、試験の成績や講習中の質疑等を参考に総合的に判断する。 評価基準は、総合点で60点以上を合格とする。
履修認定の方法	特になし。講習に必要なレジュメや資料は配布する。
備考	キーワード：知識経済、ネットワーク、創造性・革新性、グローバル